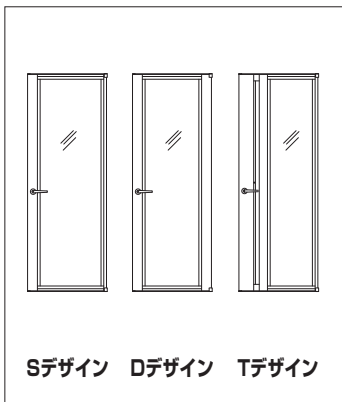
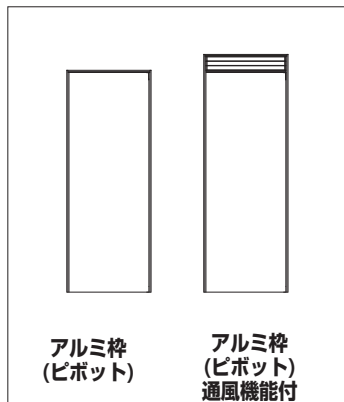


商品バリエーション

[ドアデザインバリエーション]



[枠バリエーション]



使用上のご注意



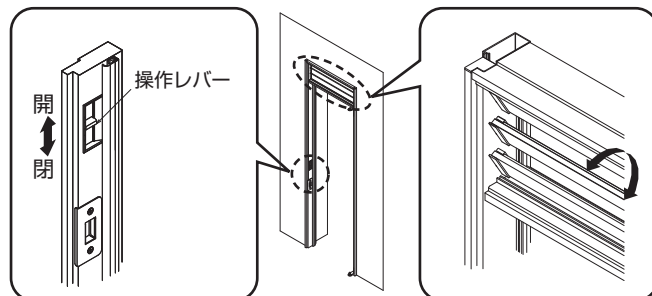
- 開閉はドアと枠、床のすき間に手を置かないように注意して行ってください。指をはさんでケガをするおそれがあります。
- 本体に開閉方向以外の力を加えて、操作しないでください。
- ドアに寄り掛かったり、強い衝撃を与えないでください。
- 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。また、湿度の高い場所で使用しないでください。ドアの反りやアクリルパネルのゆがみの原因になります。

お手入れ方法

- アクリル面材は非常に傷付きやすいので、取り扱いには十分注意してください。
- 表面に付着した汚れは、固く絞ったやわらかいぬれふきんでふき取ってください。落ちにくい場合は、うすめた中性洗剤をふくませたやわらかい布で拭き、その後、固く絞ったやわらかいぬれふきんで洗剤をふき取ってください。
- お手入れにあたっては、次のものは使用しないでください。変色や光沢がなくなったり、変形するおそれがあります。
 - ・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
 - ・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
 - ・クレンザー等の研磨剤が入った洗剤
 - ・金属タワシ等
- アルミ枠(ピボット)通風機能付仕様の場合、ルーバー部は90° 開いた状態で清掃してください。その時、ルーバーを強く押ししたり、引いたりしないでください。

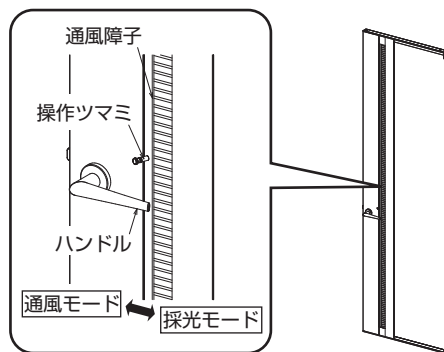
ルーバーの操作方法

アルミ枠(ピボット)通風機能付



- ルーバーの開閉はドア本体を開き、錠受け上部の操作レバーで行ってください。
- 操作レバーを上げると開き、下げると閉じます。
- ルーバーの開閉はハンドルを持ち、ドアが閉まらないように注意して行ってください。

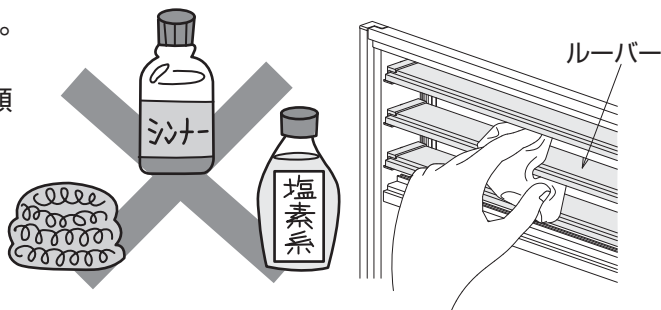
通風障子の操作方法(Tデザイン)



- 通風障子はつまみを持って操作してください。
- 通風障子をハンドル側に寄せると通風モード、吊元側に寄せると採光モードに切り替わります。
- ドアの操作はかならず通風障子を片方に寄せた状態で操作してください。通風障子のバタつきの原因になります。

お施主様用保存版

販売店・工務店・建設会社の皆様へ この取扱説明書は施工後、お施主様へお渡しください。



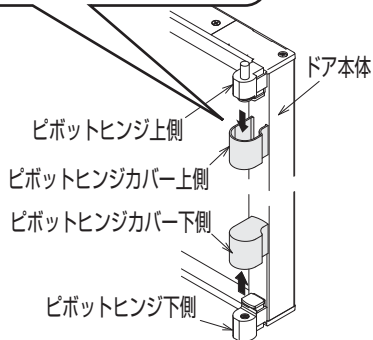
ドア本体の建付調整



■ピボットヒンジの調整

ピボットヒンジにより三次元調整ができます。

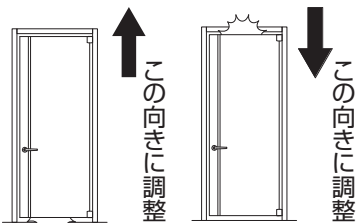
ピボットヒンジカバーをはずしてください。



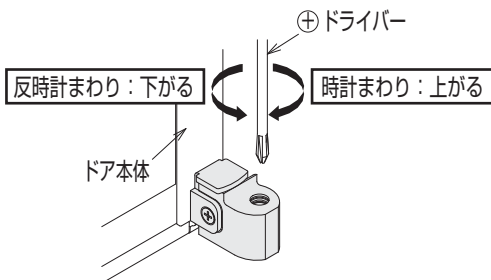
高さ調整

扉が床や上枠にぶつかる場合
すき間がせまい場合

上下ねじを回し調整してください。



床部のすき間は14mmが標準です。

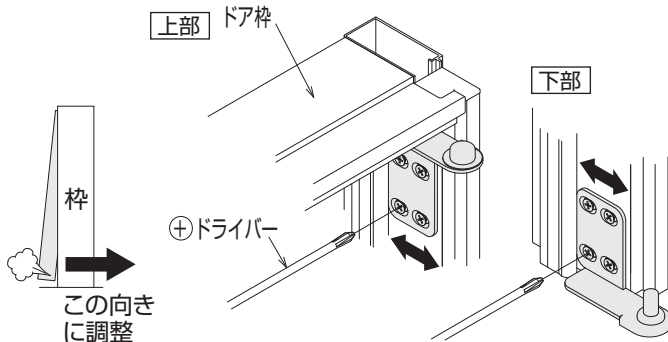
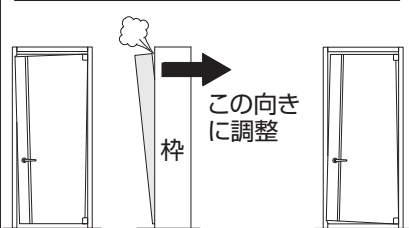


お願い

ねじが固い場合は、扉を持ち上げ、ねじに扉の重量がかからないようにすると、簡単に調整ができます。

前後調整

扉が前後に傾いている場合



※上・下部とも調整してください。

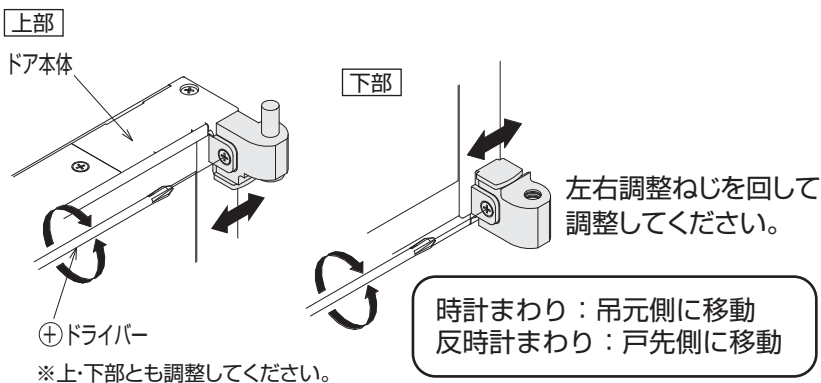
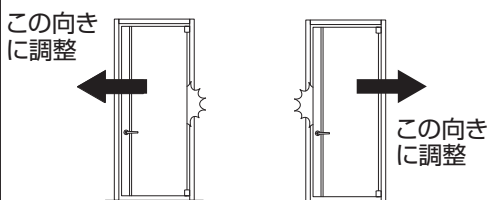
- 枠上下のピボットヒンジのねじをゆるめ調整してください。
- 調整後はしっかりとねじを締めてください。

お願い

ねじは2回転以上ゆるめないでください。扉がはずれるおそれがあります。

左右調整

扉がたて枠にぶつかっている場合



※上・下部とも調整してください。

錠受けの調整

ラッチがガタツク、かかりにくい場合

固定ねじをゆるめ、座板の位置を調整してください。
調整後は、固定ねじを確実に締めてください。

